

放射能から子どもたちを守る 宗教者ネットワーク

<事務局> 原子力行政を問い直す宗教者の会
<ホームページ> <http://gts.mukakumuhei.net>
<連絡先> 東京事務所 ☎ 090-3213-4575

お願い①

放射能から子どもたちを守る
ための保養場所を提供
して下さい！

[場所]

寺院・教会などの関係施設

[対象]

福島（周辺及びホットスポット）に在住
する子どもとその家族やグループ（部
活動・スポーツ少年団）など

[目的]

放射能汚染による健康被害の回避
免疫力の向上

[時期]

昨年は夏休みに北海道 7 か所で実施
（約 300 名参加の実績）、本年夏も準備中
※週末の短期利用や長期的疎開などもご相談させて下さい。

お願い②

“放射能から子どもたちを守る
「保養」プロジェクト” 支援
カンパにご協力下さい！

子どもたちの保護者が経済的な負担を
感じることなく、気軽に「保養」を検討
いただけることが肝心となります。その
ため、昨夏の北海道「保養」企画では
往復交通費を全額支援しました。

今後も毎年、数百万円レベルの費用
が必要になります。（「保養」プロジェ
クトは継続的に実施いたします）

振込先

郵便振替：00100-6-766244

口座名：放射能から子どもを守る宗教者
ネットワーク

銀行振込：ゆうちょ銀行 当座預金
019-0766244

私たちは宗教の垣根をこえて、
子どもたちの未来のために広く呼びかけます

“放射能から子どもたちを守る「保養」プロジェクト”関係図

福島(周辺及びホットスポット)の子どもたち

—乳幼児、小中学生、高校生—

- 家族 ●母親グループ
- 部活動、スポーツ少年団の合宿 など
- 夏休み等の休暇
- 週末利用 ■長期的疎開

福島県教育委員会の見解 (2012年4月)

「子どもたちを保養させることは健康管理上望ましい」

※校長会の役員会にて伝達

WELCOME!

情報交換



市民団体「子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク」

<http://kodomofukushima.net>

〒960-8036

福島市瑞町8-8明邦ビル3F

☎

担当：吉野裕之さん

保養先までの往復交通費を負担

保養先の調整

【保養先】

北海道他全国各地の寺院・教会関係施設

- ・宿泊、部屋代、水道光熱費無料
- ・食費、現地移動費は各自負担 (自炊設備あり/食材の差し入れ?)
- ・洗濯や風呂等生活環境を確認
- ・交流イベントなどの開催

【保養先地元自治体の協力(例)】

- ・プール・体育館・グラウンド等施設の貸出

情報交換



場所依頼
資金支援
(貸布団代など)

専門家

アドバイス

原子力行政を問い直す宗教者の会

事務局：〒669-2213 兵庫県篠山市中野 155 長田浩昭

東京事務所：〒132-0033 東京都江戸川区東小松川 2-5-12

☎ 090-3213-4575 大河内秀人 (浄土宗寿光院)

福島事務所：☎ 0242-83-2770 和田至紘 (真宗大谷派光照寺)

【世話人40名の所属先一覧】

- | | | | | |
|-----------|---------|------|-------------|--------------|
| ■真言宗御室派 | ■高野山真言宗 | ■曹洞宗 | ●日本キリスト教団 | ●日本バプテスマ連盟 |
| ■日蓮宗 | ■浄土宗 | | ●日本福音ルーテル教会 | ●日本自由メソジスト教団 |
| ■浄土真宗本願寺派 | ■真宗大谷派 | | ●カトリック | |
| ◆教派神道 | | | | |

※会員数は全国約800名

チェルノブイリの痛みに学ぶ

健康に影響が出てくるのは5年後

1986年の旧ソ連・チェルノブイリ原発事故によって、5年後の1990年から子どもの甲状腺ガンが増加していったデータがあります。(「フォーラム」22号21頁のグラフ等参照)

ガンや白血病だけではありません。ドキュメンタリー映画『チェルノブイリハート』(2003年/マリアン・テレオ監督作品)は、心臓疾患について描き、アカデミー賞を受賞しました。それ以外にも、体がだるくなる「原爆ぶらぶら病」などが懸念されます。

「保養」によって免疫力が向上

それ故に、子どもたちが放射線数値の低い場所で一定期間生活する「保養」が重要となります。体内に蓄積した放射性物質が排出されることで、免疫力が高まる効果が明らかになり、ベラルーシでは行政プログラムの一環として行われるようになりました。

ベラルーシの子どもたちの「保養」を長年受け入れてきた当会の世話人によれば、来日後しばらくは鼻血が止まらなくなり、運動は無理、静養の必要があったそうです。しかし、昨年夏の北海道企画では、スポーツの練習・試合が行われ、幼児は活発にかけ回っていた、という報告がほとんどでした。

だからこそ、今年、来年…と「保養」を続けていくことが大切なのではないでしょうか。

「原子力行政を問い直す宗教者の会」の歩み

- 1993年 7月 結成全国集会 (敦賀)
- 1996年 6月 <「国策=核燃料サイクル」を問う今、宗教者として>第3回全国集会報告集発行
- 1997年 10月 <「国策」=原子力政策の転換を求める提言>作成
- 1999年 5月 会報「フォーラム」創刊
- 2001年 1月 第6回全国集会 (長崎)
- 12月 『総シロの危機-いのちを守りたい』出版
(※2002~2007年事務局体制変更フォーラムの発行を中心に活動)
- 2008年 9月 第10回全国集会 (敦賀)
- 12月 新しい事務局体制 (現事務局)
- 2011年 7月 北海道の夏休み「合宿・グループ」プロジェクト実施
- 12月 『原発=総シロの危機』出版 (2001年版を再編集)
- 2012年 4月 2012 フクシマ全国集会 (福島)

昨年夏の「保養」事例紹介

- 参加グループ… 須賀川西バスケットボールスポーツ少年団
- 参加人数… 小学生(女子)31名・高校生1名・大人2名
- 滞在先… 勝誓寺(北海道剣淵町/真宗大谷派)
- 実施期間… 7月23日から8月2日
- 移動方法… 郡山⇄仙台(バス) 仙台⇄苫小牧(フェリー)
苫小牧⇄剣淵(バス)

「福島の子もたち」一時避難プロジェクト

福島県須賀川市西ミニバスケットボール少年団の一行34名(小学生31名+引率者3名)が剣淵町内で自炊しながら合宿し、B&G体育館等で強化練習を行ないます。併せて町内の千アジュニア・柔道少年団との交流も実施します。

町民の皆様も町内で児童を見かけましたら、是非温かい言葉をかけてください。皆様のご理解とご支援・ご配慮(差し入れ等歓迎)を心からお願ひ申し上げます。

期 間 7月24日(日) ~ 8月1日(月)

宿 泊 先 仲町 勝誓寺

滞在日程

- 7月24日(日) 苫小牧港着 ~ 剣淵町16時着
- 25日(月) 午前・町内施設見学 午後・練習
- 26日(火) 強化練習 交流会(少年団)
- 27日(水)~28日(木) 午前・午後強化練習
- 29日(金) 旭山動物園見学
- 30日(土) ネット放送出演 アルパカ牧場見学
- 31日(日) 午前・練習
- 8月1日(月) 離町 ~ 苫小牧港19時発

活動場所 B&G体育館 B&Gフィールドほか

受入団体 絵本の里活性化研究会(けんぷろ絵本の里を創ろう会)

事務局・問合せ 剣淵町絵本の館内 電話 34-2624